

吾妻警察署協議会議事録

(令和6年度第2回定例会議)

開催日時		令和6年9月26日(木) 午後3時30分から午後5時までの間	
開催場所		吾妻警察署道場	
出席者	委員 (定数5人)	安カ川会長 一之瀬委員 相京委員 小池委員 金井委員	計 5人
	警察	前澤署長 小川副署長 小林会計課長 島崎生活安全課長 田島地域課長 熊澤刑事課長 梅村交通課長 警備課長 警務係長 警務係員	計 10人
	その他		
議 事 の 概 要			
<p>1 挨拶概況</p> <p>(1) 会長挨拶</p> <p>第1回の定例会議以降、吾妻警察署管内においては、7月に本年2件目となる交通死亡事故が発生したほか、殺人事件被疑者の逮捕など署員の皆様は大変な苦労をされているところとお察しする。全国的に見ても、子供が被害者となる事件事故、高齢者が関係する交通事故、SNS型投資詐欺を始めとする特殊詐欺被害など、事件事故に関するニュースを見聞きする機会が依然として多く、大変憂慮される状況にあることから署員の皆様には引き続き高い士気を保持していただき、地域の治安維持に御活躍いただきたい。</p> <p>(2) 署長挨拶</p> <p>平素から警察行政各般にわたり御理解と御協力を賜り厚く御礼を申し上げる。前回の第1回定例会議以降、世間の耳目を集める事件や事故は2件あり、1件目は中之条町伊勢町地内における交通死亡事故、2件目は、茨城県常総市内のアパートにおいて、嬰兒を殺害したとして、中之条町入山地内に居住する24歳の男を逮捕した殺人事件である。特に、殺人事件については、生後間もない嬰兒が被害に遭うという大変痛ましい事件であり、新聞やテレビなど各種メディアでも大きく取り上げられた。当署では刑事課員を中心に強固な捜査態勢を確立し、事件の真相究明に向け鋭意捜査を推進中である。</p> <p>2 警察署協議会に関する注意事項の説明</p> <p>協議会委員としての注意事項等について口頭で説明した。</p> <p>3 業務概況説明事項(説明者 署長)</p> <p>(1) 刑法犯認知・検挙状況(R6.1～8月)について</p> <p>(2) 窃盗犯認知・検挙状況(R6.1～8月)について</p> <p>(3) 知能犯認知・検挙状況(R6.1～8月)について</p> <p>(4) 特殊詐欺被害認知状況(R6.1～8月)について</p> <p>(5) 特別法犯検挙状況(R6.1～8月)について</p> <p>(6) 少年非行状況(R6.1～8月)について</p>			

- (7) 交通事故発生状況(R6.1～8月)について
- (8) 路線別・形態別事故発生状況(R6.1～8月)について
- (9) 警察安全相談受理状況(R6.1～8月)について
- (10) 110番通報受理状況(R6.1～8月)について
- (11) 主な警察活動(R6.1～8月)について

4 協議 (○～委員、●～署長等)

○ 泥棒に入られないための有効な対策について教えていただきたい。〔質問〕

● 泥棒は顔や姿を見られることや侵入に時間がかかることを嫌うことから、防犯カメラを設置することやガラスフィルムの貼付等が有効である。また、光や音にも警戒することから、センサーライトや踏むと大きな音の出る防犯砂利を敷く等の対策も有効である。空き家に対する窃盗も増えていることから、泥棒に入られたとしても被害を最小限にできるよう、まずは貴金属や現金など被害品となりうるものを置いておかないことを心がけていただきたい。〔回答〕

○ 特殊詐欺電話対策装置や防犯カメラの設置について、自治体によっては購入のための補助金を出してくれるところもあるため、自治体から補助金が出るということがもっと広く認知されれば特殊詐欺電話対策装置の設置世帯も多くなると思われることから、警察からも周知をお願いしたい。〔要望〕

● 役場担当者等に働きかけを行うとともに、さまざまな機会を通じた広報啓発活動に努めていきたい。〔回答〕

○ 外国人労働者も増えてきており、技能実習生を受け入れている企業も多いが、管内居住の外国人数等について把握はしているか。〔質問〕

● 管内居住の外国人数は把握しており、東毛地域と比べるとやはり少ない。管内の外国人を雇用している企業には、不法就労防止対策や外国人が犯罪に巻き込まれないための防犯講話等を実施している。また、定期的に警察本部や東京入国管理局と連携した合同摘発による不法滞在者の摘発のほか、違法行為の取締りを行っており、取締りと共生の両面での取り組みを実施している。〔回答〕

○ 群馬県は学生の自転車事故が多いと聞いているが、管内での発生はあるか。〔質問〕

● 吾妻警察署管内では、本年に入ってから本日までに4件の自転車事故が発生しており、うち中高生が関係する事故は1件となっている。今後の法改正により、ながらスマホや酒気帯び状態で自転車を運転することも罰則の対象となることから、自転車に対する取締りにも重点を置き、各種施策を推進していきたい。〔回答〕

5 備考

今回の定例会議は令和6年12月中旬ごろの開催予定とした。